

公募制推薦入試【前期】

専願制

併願制

ポイント

- 1 出身学校における成績（50点満点）と選考試験（200点満点）により判定します。
- 2 選考試験は小論文型と、基礎能力試験型の2方式です。専願制に基礎能力試験型が加わりました。
- 3 公募制推薦入試【専願制】と【併願制】は、同時出願が可能です。
- 4 現役生、一浪生が受験可能です。出身学校長の推薦が必要です。
- 5 優秀な成績で合格した学生を対象として入試特別奨学金を給付します。（基礎能力試験型のみ）
- 6 チャレンジ受験により、一般入試【第1期】の入試特別奨学金の選考対象となります。

入試対策

8/3（日）に開催するオープンキャンパスでは、「公募制推薦入試【小論文型】実践講座（模擬試験と解説）」を行います。また、9/21（日）[本学会場]、9/28（日）[滋賀会場]には公募制推薦入試に特化した「入試対策講座（模擬試験と解説）」を行います。[基礎能力試験型]については、駿台予備学校講師が解説予定です。また、7/26（土）、8/24（日）には「小論文型入試セミナー」を実施しますので、利用する入試制度に応じてぜひ活用してください。詳細は、大学ホームページで確認してください。

出願資格

- (1) この推薦入学制度の趣旨を理解し、本学への入学を強く希望している者。専願制の場合は、出願する学科に専願の者
- (2) 高等学校もしくは中等教育学校を2025年度卒業見込み、または2024年度卒業の者で、学校長の推薦する者

※(1)(2)の条件を満たしていること。

※個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、事前に入学センターまでご連絡ください。

試験日・出願期間・合格発表日・入学手続締切日

試験方法	専・併	試験日 (試験日自由選択制)	出願期間 (締切日消印有効)	合格発表日	入学手続締切日 (締切日消印有効)	
					第1次	第2次
小論文型 (小論文)	併願	11月14日(金)午前 11月15日(土)午前	10月14日(火) ? 11月3日(月・祝)	11月25日(火)	12月15日(月)	1月15日(木)
	専願	11月16日(日)午前				
基礎能力試験型 (英語・国語)	併願	11月14日(金)午後 11月15日(土)午後				
	専願	11月16日(日)午後				

[注] 入学検定料・学校納付金の納入方法については23・24ページを参照してください。

試験場

5都市に設置します。詳細は、入学試験要項で確認してください。

試験日・試験時間	京都（本学）	京都（京都駅前）	彦根	草津	大阪	神戸
11月14日（金）午前・午後		●		●	●	
11月15日（土）午前・午後	●		●	●	●	●
11月16日（日）午前・午後	●					

選考方法・試験時間・配点

- (1) 出身学校における成績（出身学校調査書の全体の学習成績の状況を10倍して50点満点に換算）と、本学で行う選考試験の成績（200点満点）との総合評価による（合計250点満点）。
- (2) 選考試験は、次の2方式とする。

小論文型

	内 容	試験時間	配 点
小論文	日本語の課題文（2,000字程度）を精読し、その内容理解に基づいた小論文（800字以内）を作成する。	100分	200点

基礎能力試験型

教科	科目	試験時間	配 点	備 考
英 語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ	50分	100点	計2教科 200点 《マークシート方式》
国 語	現代の国語・言語文化（古文・漢文を除く）	50分	100点	

評価の基準

公募制推薦入試は、志願者の出身学校での学習成果を重視しつつ、なおかつ大学入学後の適性を見るため、出身学校調査書の全体の学習成績の状況と、当日の選考試験の成績との合計点によって合格者を決定するという方式をとっています。

小論文型

課題文の内容を正しく読解し、その論旨を正確に把握したうえで、与えられたテーマについての考察が、まとまりある形で表現されているかどうか評価されます。

具体的には、

- ①読解力：課題文をよく読解し、その論旨を正確に把握しているか
- ②思索力：与えられたテーマについて、十分に考察し、また批判や評価をしているか
- ③表現力：考察した内容を説得力ある文章にまとめているか、誤字や脱字はないか
- ④独創性：広い視野のもとで、独自の視点を提示しているか

などの諸点を基準にして総合的な評価をします。従って、課題文の内容を無視して、事前に用意してきたものを写したかのような論文は、いくら論述の内容と方法とに優れたものであっても評価しません。課題文に基づいて、問われている事柄に答えることが重要です。

基礎能力試験型

「英語」「国語」をマークシート方式で解答するものです。

併願 併願制のみ

併願制の小論文型及び基礎能力試験型において、複数の試験日・試験方式で併願することができます。ただし、それぞれの試験日の各試験方式において、出願できる学科は2学科まで（ただし同一学科不可。学部を問わない。教育学部は各コースを学科とみなす。）です。試験日、試験方式が異なれば、同じ学科でも異なる学科でも併願することができます。※併願した場合、入学検定料を減額します。詳細は23ページ参照。

併願例

試験日	試験方式	第1志望	
		志望学科①	志望学科②
11月14日(金)	小論文型	真宗学科	哲学科
	基礎能力試験型	国際文化学科	歴史学科
11月15日(土)	小論文型	コミュニティデザイン学科	国際文化学科
	基礎能力試験型	現代社会学科	コミュニティデザイン学科

ハイスコア方式 併願制 / 基礎能力試験型のみ

併願制の基礎能力試験型を複数日程受験の場合、英語と国語それぞれの最高点の合計点で判定します。

入試特別奨学金制度 併願制 / 基礎能力試験型のみ

各学科（教育学科はコース）の入学試験の成績優秀者を対象に、84～94万円を給付します。詳細は入学試験要項にて確認してください。

入試特別奨学金チャレンジ受験制度

公募制推薦入試の入学手続者は、入学の権利を保持したまま一般入試〔第1期〕を受験することで「入試特別奨学金」の選考対象とします。（入学検定料は不要です。）出願方法の詳細は、合格通知書に同封します。（基礎能力試験型にて受給対象となった方は除く）

入学前教育プログラム

公募制推薦入試【前期】〔専願制〕〔併願制〕の合格者へは、大学での学びに必要な基礎的な学力および入学後の専門分野の学びに必要な力を養成するため、入学前教育プログラムを合格発表時にご案内します。

また、専願制〔小論文型〕の入学手続者へは受講が必須（無料）のプログラムを予定しています。